

勤続年数25年以上表彰！

冒頭に書きましたように、創業50周年を迎えながらもコロナ禍のため晴がましい場を設けることもできず、年度末を迎えましたが、どうにもこのままでは私の気持ちの整理がつかないので、3月24日の全員が集まる全体会議の後に食事会を設け、勤続25年以上の4名を表彰しこれまでの功労をねぎらうことができました。

勤続50年になる里さんは、創業の翌年に入社。設備士などの資格を取得し、設備工事で創業した弊社の黎明期から中心となって活躍し、リフォーム業に転換してからも大竹店エリアの修理サービスを一手に担い、アフターサービス業においては無くてはならない存在です。もはや定年はありませんので、体が動く限り、お客様のため、会社のため、そして家族のために頑張ってもらいたいです！

勤続44年になる竹内君は、工業高校の建築科を卒業後新卒で入社。当初は、現場で管工事を担当していましたが、リフォーム工事を行うようになってから2級建築士を取得し、リフォーム工事の施工管理を担い、現在の施工体制の礎を築いてくれました。現在は廿日市店エリアの修理サービスや完工事などを担い、里さん同様体が動く限り頑張ってもらいたいです。

勤続31年の河野さんは、経営が苦しいころから(こんな所嫁に来るんじゃなかったと思いつつ)経理を担当し、経理・総務のみならず、経理や顧客管理のシステムの導入などを行い、現在の管理業務を築いてくれました。これからも、社長の見張り番としてよろしくお願ひします。

勤続27年の西村君は工業高校卒業して新卒で入社。当初は配管工として現場で施工を行っていましたが、CADの研修を希望し営業に転向。2級建築士も取得し、以後、廿日市店店長として宮園への移転をこなし、平成23年には宅地建物取引士の資格も取得し、現在は営業部門の責任者として重責を担って来ています。

次なる60周年に向けて、皆さんよろしくお願ひします！(啓)

4月1日より、新卒の新入社員が入社いたしましたので、ご紹介させていただきます。

名前：伊藤 勇哉
生年：1998年生まれ 23歳
出身：広島市安佐北区

伊藤君は、工業高校建築科を卒業後、自動車メーカーに入社するも、建築の仕事をしたいとの思いを断ち切れず、退社し貯めたお金で専門学校に通い、2級建築士を取得して入社してくれました。それだけ、この仕事に対する気持ちが強く、そして真面目な性格ですので、きっとこの会社を背負ってくれる人材になると期待しております。

趣味はテニスとギターとそつのないことを言っていますが、いずれ本性を現してくれることを楽しみにしております。それにしても、悪筆の多い我が社の中で、とても字がきれい！私も含めて、丁寧に書かなくてはと新入社員に教えられます。

まずは、本社で工務を担当しますので、お邪魔した際にはよろしくお願ひします。



勤続50年里さん



勤続44年竹内君



勤続31年河野(育)さん



勤続27年西村君

新入社員紹介



河野



みなさんこんにちは！ついこの前正月を迎えたかと思っていたら、あれよあれよという間に新年度を迎えてしまいました。ゲイナンハウスもコロナ禍ではありますが、社員一同元気に令和3年度のスタートです。

さて、上の写真の立派な門は、私が1970年中学2年の7月まで通った愛知県豊橋市にある青陵中学校の正門です。51年前、父が兄弟でゲイナンハウスの前身である芸南ハウス設備を創業し、豊橋で勤めていた会社を退社したため、私たち家族も地元大竹に引っ越し、この中学校から大竹市の小方中学校に転校した次第です。先日、父が創業する際に豊橋の親しい方から出資をさせていただいており、その方々も高齢ながらお元気にされているとの事でしたので、弊社が創業50周年の節目を迎えることができたお礼に豊橋まで行き、折角ですので、51ぶりに当時住んでいた自宅跡や、通った小学校・中学校などを懐かしく巡って参りました。また、私の趣味の楽器を吹奏楽部に入部した折に決めてくれた当時部長だったIさんにお会いすることができ、今では手広く建設業を営んでおられ、当時の懐かしい写真を見ながら、昔話を花を咲かせることもでき、自分の原点の一つにも触れることができました。

50年と言う年月の長さは、同じ場所に住んでいると周りの変化が緩やかなため実感することはできませんが、今回豊橋に51ぶりに行ってみると、まさに浦島太郎状態！子供のころ遊んでいた池などは埋め立てられて住宅地になるなど、あまりの変貌ぶりに、ただただ驚くばかり。50年と言う時間の長さをしっかりと体験することができました。

裏面にて創業からの足取りを簡単に振り返っておりますが、もちろん順風満帆と言う訳ではなく、2度の危機を経験しました。1度目の危機は、設備工事で大きな不渡りを受け倒産の危機に瀕し、先代が金策で銀行や商工会議所など巡っていたことを思い出します。2度目の危機は、下水道工事の終わりが見えた頃から売り上げがじわじわと減り始め、そうすると社内も落ち着きがなくなり、“倒産”に向けて転がり落ちるような状態に陥りました。人員削減とリフォーム專業への業態転換で何とか持ち直し、現在に至ることができました。

本来でしたら、50年と言う節目を祝う場を設ける予定で、会場まで予約しておりましたが、残念ながらコロナ禍のため行うことができませんでした。社内だけでもと3月の全体会議の後に食事会を行い、勤続年数が25年以上の4名に感謝状を贈り、社内も一応50年の節目を行うことができ、安堵した次第

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は8月頃の予定です。(啓)
*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願ひします。送付を停止いたします。

ゲイナンハウス50年史 簡単に振り返ってみました

社屋の変遷



創業時：店舗併用住宅



1976年新社屋建替



1992年外観を一新



2006年宮園に廿日市店新築移転



2015年本社大改修

西暦

社内の出来事

- 1970 ・河野義明・玉男の兄弟でセントラルヒーティング工事を主力とした有限会社芸南ハウス設備を創業。（社屋はナショナル住宅の建物で、店舗併用住宅でした。）
- 1976 ・社屋の線路側に道路ができることとなり、用地買収をされ社屋の建て替えを行う。ショールームと倉庫を備えた現在の建物です。
・社内旅行始まる(1回目は道後温泉)
- 1980 ・現社長入社
・大竹市の上下水道の指定工事店となり、下水道の切替工事を行い始め、以後1998年ごろまで主力の業務となる
- 1984 ・設備工事で2400万円の不渡りを受け倒産の危機に瀕する
- 1987 ・リフォーム工事拡大に向けてイベントを大竹商工会議所で始める
- 1990 ・15周年の社員旅行でサイパンに行く
・台風19号で塔屋が被害を受け外観一新
- 1993 ・下水道工事の終わりを見据えて、廿日市市宮園に廿日市店を開設(現社長一人で活動開始)
・現西村営業部長入社
- 1995 ・創業25周年パーティ開催
・下水道工事が大幅に減り業績悪化
・創業30周年の催しは業績不振のため中止に
- 2000 ・芸予地震で屋根工事等の特需
・現社長就任、現宮本廿日市店長入社
- 2002 ・ニュースレター「住まいる通信」始める
・感謝祭スタート
・宮園に用地を取得し廿日市店を新築移転
- 2005 ・現河野(大)工務部長入社
・一級建築士事務所登録
・創業40周年パーティ開催(広島サンプラザ)
- 2010 社員旅行で石垣島に行く
・創業者河野義明死去(享年85歳)
- 2015 ・本社大改修
・宅建業取得
- 2017 ・中谷君(現在廿日市店勤務)入社
・廿日市店事務所改修
- 2020 ・創業50周年

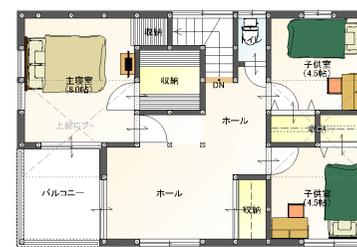
世の中の出来事

- 大阪万博開催
- よど号ハイジャック
- あさま山荘事件
- およげたいやきくんがヒット
- 巨人の王756本塁打記録
- 江夏の21球
- 巨人の王が引退
- 東北新幹線開業
- 江崎グリコ誘拐事件
- 世界人口50億人突破
- 青函トンネル貫通
- 瀬戸大橋開通
- 東西ドイツ統一
- 細川連立政権誕生
- 英仏トンネル開通
- 阪神淡路大震災
- 長野新幹線開通
- シドニーオリンピック
- アメリカ同時多発テロ
- 初の日朝首脳会談
- 福知山線脱線事故
- 日本人4人にノーベル賞
- 東日本大震災
- 東京五輪決定
- オバマ大統領広島訪問
- 米朝首脳会談
- 令和改元
- コロナ大流行

昨年退社した太田君の思いの詰まった 「大黒柱のある家」完成しました！



1階平面図



2階平面図

建物概要

- ・木造軸組工法
- ・床面積 1F 74.11m²
2F 56.31m²
合計 130.42m²
- ・仕様
外壁 ラスモルタル塗り
吹付け塗装仕上げ
屋根 瓦葺き



外観：赤い瓦の落ち着いた外観



玄関ホール：玄関に入るとニッチの飾りが迎えてくれます



LDK：中央の大黒柱と部分的に採用した羽目板の天井が印象的です
特注のTVボード(右写真：大黒柱に隠れています)が素敵です



LDKに飾ってある家族4人の手形

昨年退社した太田君の新居が西風新都に完成しました。昨年末にこの通信第84号で地鎮祭や自らが施工している様子をご紹介いたしましたように、米作りの農閑期に大工さんと一緒になって何とか作り上げました。

平面計画のポイントは、存在感のある7尺角の大黒柱が中心に立つ広いLDKと家事室・洗面所・浴室が一列に配置されており、家事をする奥さんが動きやすい動線となっていることです。写真を撮影に伺った時にも奥さんが「私のこの家事室が一番気に入ってます」と嬉しそうに話してくれました。

写真では分かりませんが、1階部分は階段下に配した1台のエアコンで暖房し、2階天井裏の暖かい空気を床下に送り暖房を補助するシステムです。高気密・高断熱仕様の住宅ですので来シーズンの冬が楽しみです！

内装は居室部には自然素材を採用、床は無垢フローリング、壁・天井は漆喰を塗っています。当初は自分で塗ろうと思っていたのですが、2階を塗り始めてみるととても難しく、大変な上に人様に見てもらえるような仕上げにならないと白旗を早々に上げて、左官さんに塗ってもらったとの事です。



家事室：まっすぐ洗面所・浴室まで見通せるので、家事動線は完璧

なかなか写真では紹介しきれませんが、太田君が一生懸命に考えた工夫が随所に見られる素敵な新居となっていました。外回りは次回の農閑期に頑張って整備するとの事ですので、外構の完成は来年ですかね？この団地は若い世帯ばかりで、たくさんの子供が公園で遊んでおり、学校も近くて子育てするには良い環境となっていました。太田君通勤して農業頑張ってください！(啓)